

令和5年度 第1回 松野町まちづくり委員会会議録

日時：令和5年10月4日（水）10:00～12:00

場所：松野町役場 庁舎2階 議場兼大会議室

【委員（出席者）】

氏名	出欠	氏名	出欠	氏名	出欠
井上 六 廣	出	長谷 信 昭	出	井上 重 人	出
岡村 勝	出	大内 義 昭	出	毛利 恒 子	欠
中脇 優	出	西村 正 人	出	毛利 伸 彦	出
中湯 廣 和	出	山下 武 久 (商工会長代理)	出	芝 美 紀	出
須田 正文	出	中森 京 司	出	山本 紗 代	欠
濱田 章 二	出	岡 正 司	欠	—	—
竹内 義 富	出	谷 清	出	—	—

～ 次 第 ～

1 開 会

2 あいさつ

3 説明事項

愛媛県総合計画について（愛媛県庁 総合政策課より説明）

（休憩）

4 協議事項

第2次森の国松野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

5 自由討議

令和5年度第1回松野町まちづくり委員会の開催結果について

日時：令和5年10月4日（水）10:00～12:00

場所：松野町役場 庁舎2階 議場兼大会議室

参加委員：井上（六）委員、岡村委員、中脇委員、中湯委員、須田委員、濱田委員、
竹内委員、長谷委員、大内委員、西村委員、中森委員、谷委員、
井上（重）委員、毛利（伸）委員、芝委員

代理出席：商工会 山下副会長

県参加者：越智係長、松下主事（総合政策課）

町参加者：坂本町長

友岡課長（総務課）、中井課長（防災安全課）、小西課長（農林振興課）、
谷口課長（建設環境課）、芝課長（町民課）、高山課長補佐（教育課）
井上課長、土居課長補佐、吉原主事（ふるさと創生課）

内容：概ね次のとおり。

1. 開会あいさつ（坂本町長）
2. 愛媛県総合計画に係る説明（愛媛県総合政策課）
3. 委員長あいさつ
4. 協議事項

(1) 第2次森の国松野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

ふるさと創生課が資料に基づき総評を行った後、関係各課から実施事業について説明を行った。

5. 自由討議

発言者	内容
	（予土線と宇和島バスの連携について）
委員	全国ニュースで、運転手不足を要因とし、バス運行を1割削減するといった内容が放送されていた。宇和島自動車の状況はどうか。 また、予土線と宇和島バスの連携を深めることが重要だと考えるが、どうか。
事務局	宇和島自動車からバス運行を減便するといった話は聞いていない。 また、予土線と宇和島バスの連携は検討されている状況であり、既に災害時にあたっては、両社において協定が締結されており、相互の輸送の実施が可能となっている。
	（シルバー人材センター）
委員	シルバー人材センターがないのは、県下でも珍しい。（本町含め2町）実施しないのか。老人会にも声をかけたが、実施は難しい様子であった。
委員	シルバー人材センターについては、鬼北町では社会福祉協議会が行っているが、運営については、苦勞しているとの話も聞いているところ。 運営を軌道に乗せるためには、センターに登録する人、利用する人双方

	<p>の協力が必要である。松野町においては、過去に設立の話もしたが、設立には至らなかった。再度検討しても良いが、社会福祉協議会のみでの実施は難しいため、実施するのであれば、老人会や役場の協力が必要不可欠であり、運営に係る補助等も必要。</p>
	<p>(観光協会について)</p>
委員	<p>観光協会のように、観光資源をつなげていくための組織が必要なのではないか。</p> <p>また、観光ガイドも設置する必要があるのではないか。</p> <p>(河後森城のガイドを頼まれることも多い。)</p>
委員	<p>観光協会ではないが、松丸駅にてJRの切符発売と併行して、観光案内も行っており、観光マップを渡して、観光地への行き方を説明している。</p>
委員	<p>河後森城にどうやって行くか知らない人も多いため、看板等の設置をしてもよいのではないか。</p>
委員	<p>タクシーで来た人には、あわせてガイドするが、自家用車で来た人は難しい。</p> <p>町内の案内図等、ここに行けばわかるというものがあればよいと思う。</p>
事務局	<p>現在、松野町の全てを網羅できる観光の組織を考えている。この組織はDMO（観光まちづくり法人）といい、観光をはじめ、まちの課題解決等も担っていく予定。観光に関しては、主要施設の管理運営にとどまることなく、現地の観光ガイドの派遣等も行い、リピーターの確保につなげ、観光以上移住未満の実現に力を入れていく方針。</p> <p>DMOの立ち上げにあたっては、皆さまのご協力をお願いしたい。</p>
	<p>(河後森城近くのヒノキの美林について)</p>
委員	<p>河後森城近くにある「ヒノキの美林」を整備して、森の国に恥じぬよう、広く周知していくのはどうか。</p>
事務局	<p>河後森城の植生については、これまでも大学教授からご指導をいただき、山城の会とも連携し、どう活用していくか検討してきたところ。</p> <p>専門家からは植林が悪いわけではなく、手入れされていない山の状態が悪いとの指摘もあった。今ある自然林を手入れし、適切に育てていくことが河後森城の植生を守っていくうえで重要であり、「ヒノキの美林」についても手入れ（間伐や枝打ち等）を行っていくことで、美林としての状態を保っていき、河後森城の魅力の一つとしていきたい。</p> <p>今年度は第1期目の整備が完了する予定であり、来年度については、次に向けた整備活用に係る計画を策定予定としている。ご意見のあった社会条件（看板等）や自然条件（植生等）を改めて見直す機会になると思われる。計画策定にあたっては、参考にして参りたい。</p>
	<p>(ふるさと納税について)</p>

委員	<p>先般、ふるさと納税の商品の一つになったカニカマは在庫切れの心配はないのか。（「総合戦略 評価報告書」に寄付額の減少要因として、在庫切れをあげていたことから。）</p> <p>また、目標額としては、どのくらいに考えているのか。</p>
事務局	<p>本町においては、これまでふるさと納税の趣旨を尊重し、税制を通じたふるさとへの応援を行う仕組みと捉え、ふるさと納税事業を実施してきたところ。</p> <p>他方、昨今はカタログショッピング化しているという状況もあることから、本町においても、他市町にはない魅力的で、在庫切れのない返礼品の作成は急務であった。本町に所在する（株）キョクヨーフーズはカニカマの生産量は日本トップクラスであるが、これまで業務用のものしかなかった。今般、関係者の協力もあり、一般用を販売できることとなったため、ふるさと納税の返礼品とし取り扱うこととした。カニカマで集めた注目を他の返礼品へも波及させることで、全体的なふるさと納税額のアップを目指していく。目標額としては、まずは倍を目指し、将来的には30倍も目指していきたい。</p>
	(移住者の家について)
委員	目黒へ移住を考えている方から家の相談を受けることが多い。
事務局	<p>家の確保については、「空き家バンク」への掲載といった空き家の利活用や、新築時の奨励金の交付を行っている。今後も、地域に出向き、家の確保に努めていく。</p> <p>また、設立予定のDMOで、不動産等も取り扱えるように検討して参りたい。</p>
	(自然を活かした取組)
委員	本町の自然が多い特色を活かし、アウトドアスポーツのインストラクターを全国から集めてはどうか。
事務局	<p>本町はアウトドアスポーツの聖地化を目標に掲げて、各種取組を実施している。各アウトドアスポーツにガイドをつけることも検討しており、今後も町内外に向けアピールを行い、インストラクターの確保を目指していく。</p> <p>また、アウトドアスポーツ＋鉄道＋外国人の親和性は、非常に高いと考えており、2025年の大阪・関西万博に向け、しっかりと準備をしていきたい。</p> <p>(参考) アウトドアスポーツのインストラクターの確保状況 キャンオニング：事業者、ボルダリング（キルターボード）：協力隊</p>